

少年指導員のつぶやき



布佐中学校区は、安心・安全モデル地区として、昨年度から防犯指導員とも連携して、子どもたちの見守りを行ってきました。地域の見回りをしていると、近所の方は、労いの言葉をかけてくださいます。

また、少年指導員と小学校、中学校を卒業した子どもたちがあいさつをしたり、会話をしたりする場面もよく見られます。このような温かいつながりこそ、犯罪の抑止や事故の防止になり、安心・安全な町づくりにつながっていくのだと感じています。

布佐中学校区・布佐小学校
高橋 和也

我孫子中学校区は、天王台駅や東我孫子駅近隣の住宅街に位置しています。そのため交通量も人通りも多く、安全に登下校できるよう学校・家庭・地域で連携し、子どもたちに日々声掛けをしています。

90名を超える少年指導員による見守りは、子どもたちへの安全教育の上でも、地域の皆で子どもたちを育むためにも意味がある大切な活動であると実感しています。

我孫子中学校区・我孫子第三小学校
大井 健太郎

日本の子ども 健康面は世界1位 でも…

43か国中

幸福度32位の現実

今年、国連児童基金(ユニセフ)が先進・新興国43カ国に住む子どもの「幸福度」を調査しました。「身体的な健康度」は、2020年に続き1位でしたが、「精神的な健康度」=「幸福度」が32位という結果でした。

日本の子どもの「幸福度」が低い理由として、以下の点が報告されています。

- ①生活満足度が低い
- ②自己肯定感が低い(自分に自信がない)
- ③中高生の自殺率が高い
- ④順位重視の学習・進学へのストレスが強い
- ⑤SNSによるストレスや孤独感が強い
- ⑥子育て支援が不十分など (ユニセフ「レポートカード19」より)

どうしたら幸せを感じられるの!?



子どもの自己肯定感を上げる声かけ

□ 【承認のことば】①すごいね、②さすがだね、③いいね

- ・勉強については「いいね」を使おう
- ・ささいなことをさりげなく褒めよう

□ 【感謝のことば】④ありがとう、⑤うれしい、⑥助かった

- ・心を込めて使おう

□ 【感心のことば】⑦なるほど、⑧知らなかった

- ・ことばを使って相づちをしよう

□ 【安心のことば】⑨だいじょうぶ

- ・「きっと」「絶対」はつけないで
- ・大舞台の前には使わないようにしよう

□ 【指摘のことば】⑩らしくないね

- ・ぴやしゃり、と一回だけに

NGワード

早くしなさい
ちゃんとしなさい
勉強しなさい

◆「早く！」と言わないとやらない子になってしまう。言われるまで大丈夫…と、自分で考える力が育たない。

◆「ちゃんと！」の裏には「いい子でいてね」という親の考えが。じわじわ子どもを否定することに。

◆「勉強しなさい」と言われるたびに学力は下がる。それより、子どもの心をよい状態に。

お子さんに、こんな声かけしますか？



「子どもの自己肯定感を高める10の魔法のことば」
石田勝紀
(2018年・集英社)

低学年におすすめ



「それで、いい！」 磯みゆき作 はたこうしろう 絵
(2022年・ポプラ社)

この物語は、子どもたちに、あなたはあなたのままでいい、と語りかけます。人の目を気にしないで、やりたいことをやりたいようにしていい、そのままのあなたが、すばらしいのだ、と。

きずな200号に向けて

令和8年3月に「きずな200号」を発行予定です。我孫子市少年センター・少年指導員連絡協議会が発足当時から、子どもを取り巻く環境は大きく変化しています。200号では、市内中小学生とその保護者の方へのアンケートを行い、それをもとに記事の作成を予定しています。11月ごろ、連絡アプリ「Home&School」にて、アンケートのお知らせをしますので、ご協力よろしくお願ひいたします。



「読みたい記事・楽しい記事にしたい」との声があがり、「子どもの幸福度とおすすめの本」に記事の内容を決定しました。子どもたちの自己肯定感の向上には、周りの大人の関わり方が重要です。広報委員で調べたことを持ち寄り活発に意見を交わして記事を作成しました。子どもたちが自信をもち、充実した人生を送ることができるように声かけをしていけたらと思います。

(湖北中区・森田)